

こまば当事者カレッジ 2019年度夏期コース第1回



イラスト・
文字
ひろのはこ



「家族会議」 シンポジウム

2019年6月16(日)

東京大学駒場|キャンパス 21 KOMCEE EAST K011

時間：10：00～17：00

◇参加方法

事前登録制です。

一回ごとに参加者を募集します。各回の募集要項をご確認のうえ、参加登録を行ってください。詳細はホームページをご覧ください。

https://utcp.c.utokyo.ac.jp/events/2018/11/komaba_tojisha_college_2018_wi/

◇お問合せ tojisha-college [アットマーク] utcp.c.u-tokyo.ac.jp ※[アットマーク]を@に変換してください。

主催：東京大学大学院総合文化・教養学部附属共生のための国際哲学研究センター（UTCP）
上廣共生哲学寄付研究部門「障害と共生」プロジェクト
企画協力：江連麻紀、向谷地宣明

University
of Tokyo
Center
for
Philosophy

タイムテーブル

9:30～ 受付

10:00 開会の言葉

10:00-12:30 浦河の家族の応援について

12:30-13:30 休憩

13:30-15:00 家族会議

15:15-16:30 ワーク、ディスカッション

17:00 閉会



川村敏明、伊藤恵里子

登壇者

向谷地生良（北海道医療大学、浦河べてるの家）、向谷地悦子（浦河べてるの家）、池松麻穂（浦河べてるの家）、川村敏明（浦河ひがし町診療所）・川村和子、伊藤恵里子（浦河ひがし町診療所）、高田大志（浦河ひがし町診療所）、泉祐志（浦河ひがし町診療所）、大貫めぐみ（あじさいクラブ）、吉村明美（浦河町教育委員会）、榊原いずみ（浦河町ソーシャルワーカー）、村田藍（ソーシャルワーカー）、川西家族（浜田知美 四国学院大学）、江連家族（江連麻紀 写真家）、向谷地宣明（NPO法人BASE・株）MCMedian）、石原孝二（東京大学）



浜田知美



向谷地悦子、生良

「家族と子育てを考える」をテーマに、浦河のべてるの家の「育ち」を支える様々な実践の紹介と、家族で日常的に当事者研究をする「家族会議」のシンポジウムを行います。

べてるの家では設立初期から当事者の子育てを応援してきた歴史があり、近年も新しい命が誕生しています。親に病気や障害がある時、障害福祉と児童福祉の境界はなくなり、多様な応援と工夫が求められます。このシンポジウムの前半では、浦河での取り組みの現在を分かち合い、考えます。

また、家族の日常に当事者研究を取り入れた実践が、「家族会議」として広がりつつあります。シンポジウムの後半では、いくつかの家族の生の事例を紹介しつつ、家族のなかの対話と研究という営みの可能性についてみんなで考えます。